

市議会だより

みちやま ななみ
題字：道山 和波さん（川波小学校6年）



写真：改選後の第16期江津市議会

6月定例市議会報告

- ◆新体制決まる 2・3
- ◆常任委員会審査・議決結果 4
- ◆議決結果・討論 5
- ◆行政に問う（一般質問） 6～8
- ◆議員紹介 9

2014.8
No.120

平成26年
6月(第2回)定例会日程

6月議会定例会

平成 26 年第 2 回議会定例会が、6 月 13 日から 27 日までの 15 日間の日程で開かれ、正副議長選挙の結果、議長に藤田厚議員、副議長に田中直文議員を選出したほか、監査委員に永岡静馬議員を選出し、各常任委員会、議会運営委員会のメンバーが決まりました。また、議員提案で 4 つの特別委員会を設置し、委員を決定しました。

議案審議では、市長提出議案 2 件、議員提出議案 5 件、陳情 1 件が審議され、議員提出議案 1 件を除き原案のとおり可決・同意されました。

また、一般質問では 6 名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをたしました。

6月13日	本会議 (議長・副議長・組合議 会議員選挙・委員選 任・表彰伝達)
18日	本会議 (議案上程・提案説明・ 質疑・討論・採決)
19日	本会議 (一般質問)
20日	委員会 (総務文教委員会)
23日	委員会 (建設厚生委員会)
27日	本会議 (議案上程・提案説明・ 質疑・討論・採決)

(委員長報告・質疑・
討論・採決)

議会の新体制決まる

正副議長就任あいさつ



議長 藤田 厚

この度、議員皆様の推挙により議長に就任させていただき、身にあまる光栄に存じますとともに、その責任の重さを感じている次第でございます。

これからの江津市の発展と、江津市民のよりよい市民生活の実現のため、誠心誠意、円滑なる議会運営に努めるとともに、議会のさらなる活性化や議会機能の向上に向けて、全力を傾注してまいります。

依然として厳しい財政状況ではございますが、昨年の豪雨災害の被災地の復旧・復興への物心両面にわたる支援や、地域経済の活性化、超少子高齢化への対応などの課題に、議会が一丸となり難局に立ち向かっていきたいと思っております。

市民の皆様の負託にこたえるべく、活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みやすい街づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副議長 田中直文

この度、議員の皆さんの推挙により副議長に就任させていただきました。大変光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しております。

市政推進のための二元代表の一翼を担う議会人として、議事機能を充実させ、議会の公正かつ適切な運営に努め、江津市の発展と江津市民の民生安定のため誠心誠意努力をいたします。大変厳しい財政状況下での市政運営ですが、喫緊の課題である昨年の豪雨災害の復旧・復興対策をはじめとした諸課題に、将来を見据えて提言できる議会を目指します。

また、江津市議会が市民の皆さんの声をしっかりと反映できるよう議員の力を結集して、適切かつ柔軟な議会運営が行われるよう議長を支え努力いたします。

よろしく、ご支援のほどお願いいたします。

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

<p><総務文教委員会 / 8名> ◎藤間義明 森川佳英 鍛治恵巳子 田中利徳 ○山本 誉 石橋孝義 藤田 厚 土井正人</p> <p>藤間義明 委員長 この度、総務文教委員会委員長に選任いただきました。当委員会の所管は、総務・教育・会計など広範囲にわたります。所管の様々な問題に対して委員会のメンバー一丸となって取り組み、皆様の負託に応えられるよう努力してまいります。</p>	
<p><建設厚生委員会 / 8名> ◎森脇悦朗 多田伸治 坪内涼二 小林博昭 ○島田修二 河野正行 田中直文 永岡静馬</p> <p>森脇悦朗 委員長 所管する喫緊の課題である災害復旧工事の早期完了や少子高齢化、また、今後進められる中心市街地整備事業、そして若者定住に向けた雇用の確保など様々な本市の抱える重要課題解決に向けた取り組みについて、しっかりと調査し、市民の立場を考え真摯に審査できるような環境を整え、委員の皆さんとともに負託に応えていきたいと思っております。</p>	
<p><予算委員会 / 14名> ◎山本 誉 ○森脇悦朗 議長及び監査委員を除く議員 12名</p> <p>山本 誉 委員長 この度、予算委員会委員長に選任いただきました。合併から10年経過し、今後は交付税も減額となり、自主財源に乏しい本市の財政は大変厳しくなることは明白です。事業の選択と財源の確保、効果・効率性に基づいた予算審査を行い、市民の皆様への負託に応える委員会となるよう努力してまいります。</p>	

<p>議会運営委員会 6名</p>	<p>◎河野正行 ○藤間義明 多田伸治 土井正人 山本 誉 田中直文</p>
--------------------------	--

<p>特別委員会</p>	<p>波積ダム対策特別委員会 6名</p>	<p>◎島田修二 ○土井正人 多田伸治 藤間義明 石橋孝義 永岡静馬</p>
	<p>地域医療対策特別委員会 6名</p>	<p>◎土井正人 ○河野正行 鍛治恵巳子 田中利徳 森川佳英 山本 誉</p>
	<p>議会広報・情報公開対策特別委員会 6名</p>	<p>◎島田修二 ○多田伸治 坪内涼二 鍛治恵巳子 小林博昭 田中直文</p>
	<p>議会改革特別委員会 6名</p>	<p>◎永岡静馬 ○森脇悦朗 小林博昭 多田伸治 石橋孝義 山本 誉</p>



地元住民から交差点の状況の説明を受ける委員

常任委員会
審査内容

総務文教委員会

委員会に付託された陳情1件について審査を行い、異議なく採択されました。

◆信号機の設置について(陳情)

Ⅱ内容Ⅱ

済生会江津総合病院

西側で、星島団地の南側の市道江津敬川線(通称産業道路)と新星島団地幹線との交差点に、信号機を設置するよう関係機関に要望の働きかけを求めたもの。

※審査に先立ち、現地へ赴き調査を行いました。現地では陳情者をはじめ、多くの地元関係者から直接説明を受け、走路の状況並びに、周辺の住宅情報を視察。

【委員質問】

問 信号機の設置の所轄や市への要望はどうなっているのか。

答 信号機は県の公安委員会が設置しており、優先順位の高いものから設置される。市にも同様の要望があり、江津警察署に連絡をしていく。江津警察署で地元自治会に確認し、公安委員会に伝えるとのこと。

問 これまでに事故があるのか。

答 重大事故は起こっていない。

【賛成討論】

周辺には公共施設や住宅も多く、大きな事故が起こる前に設置すべきである。地元住民が危険を感じており、設置への強い訴えが伝わる。設置する方向でアピールすべきである。

議 決 結 果

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥

議案番号	件 名	議決結果	議決結果																
			藤田厚	永岡静馬	山本 誉	田中直文	土井正人	河野正行	石橋孝義	島田修二	森脇悦朗	藤間義明	森川佳英	多田伸治	田中利徳	小林博昭	鍛治恵巳子	坪内涼二	
議案第36号	特別委員会の設置・委員の選任について	6月13日 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	特別委員会の設置・委員の選任について	// //	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	特別委員会の設置・委員の選任について	// //	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	特別委員会の設置・委員の選任について	// //	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回議会定例会	報告第1号	平成25年度島根県江津市一般会計繰越明許費繰越の報告について	6月18日	報告															
	報告第2号	平成25年度島根県江津市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越の報告について	// //																
	報告第3号	平成25年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越の報告について	// //																
	報告第4号	平成25年度島根県江津市水道事業会計予算繰越の報告について	// //																
承認第4号	専決処分報告について	6月18日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分報告について	// //		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	専決処分報告について	// //		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第7号	専決処分報告について	// //		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第8号	専決処分報告について	// //		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は評決権なし

議案番号	件名	議決結果	議員名																
			坪内涼二	鍛冶恵巳子	小林博昭	田中利徳	多田仲治	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	島田修二	石橋孝義	河野正行	土井正人	田中直文	山本 誉	永岡静馬	藤田 厚	
第2回議定会定例会	承認第9号	専決処分報告について	6月18日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第3号	監査委員の選任について	6月13日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月27日	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第1号	信号機の設置について	//	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見第1号	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈変更を行わないことを求める意見書の提出について	//	否決	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	○	○	○

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥

議長職は評決権なし

賛否の分かれた議案の反対・賛成討論

意見第1号 集団的自衛権行使を容認する憲法解釈変更を行わないことを求める意見書の提出について

反対討論	<p>藤間</p> <p>現在、集団的自衛権行使容認に向けた議論が進められているが、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しており、もはやどの国も一国のみでは自国の平和と安全を維持することはできず、国際社会と協力して地域や世界の平和を確保していくことが必要不可欠である。また、集団的自衛権行使容認が「不測の事態に備えることが国民の利益にかなう」との意見もある。</p> <p>そうした中で、今回提出された意見書は、憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書となっており、市議会において憲法解釈について議論することはなじまないと考え、意見書提出には反対する。</p>
賛成討論	<p>森川</p> <p>全国的に憲法解釈変更へ反対する集会・デモ・討論会などが毎日のように行われ、世論調査でも朝日新聞で56%、共同通信で55.4%が反対で、全国102の自治体議会が反対の意志を示した。</p> <p>江津市でも第2次世界大戦で2500人ももの戦死者を出しており、郷田小のそばに建つ慰霊碑には「過ちは繰り返しません…」と刻まれている。このような歴史からも「戦争するな」「憲法9条を守れ」「平和を守れ」の意志を江津市議会からも示すことを強く求め、意見書の提出に賛成。</p>
	<p>多田</p> <p>安倍首相は国民の批判や不安を無視し、国会で議論もせず、自衛隊の海外派兵を際限なく拡大する憲法解釈変更の閣議決定をしようとしている。憲法は国民の権利や自由を守るため、国家権力へ縛りをつけるものだが、時の権力者の考え次第で意味合いが変わるならば、国民が持つ基本的人権も危ういものとなる。</p> <p>日本国憲法はどう読んでも、海外で戦争ができるとは読めない。であるのに、条文を変えることなく解釈変更で戦争ができるとなれば、憲法が効力を失う。力を持つ者がほしいままに振る舞えば、無法状態となり法律や条例などを遵守する根拠もなくなる。今後も日本が立憲主義の法治国家として存続するため、意見書提出に賛成。</p>
	<p>島田</p> <p>日本国憲法は平和主義を基調としており、これまで、日本が世界に平和を訴え続けてこられたのも、この平和憲法が世界で支持されて来たからである。しかし政府は、これまで憲法違反としてきた「集団的自衛権」の行使を容認し合憲化を図ろうとしており、集団的自衛権の行使が認められれば、日本の自衛隊が他国の戦争に巻き込まれる危険性が高まる。</p> <p>このような事につながる憲法解釈の変更を、時の政府の閣議決定で行おうとしていることに反対であり、意見書の提出に賛成する。</p>

市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

田中市政の総括は

市長／市民総ぐるみの市政を展開

市政運営



石橋 孝義

田中市政4期16年の総括は。

答 「市民総ぐるみ総参加の市政」を展開し、財政再建のため特段の行政改革に取り組んできた。桜江町との編入合併が成就。平成24年度を「定住再構築元年」と位置付け、以降定住促進4大プロジェクトに取り組み、江津駅前地区再生整備で「公益複合施設」と周辺整備に着手してきた。

問 次期山下市政に引き継いでほしい課題は。

答 長年の県行政での実績や、五年余り田中市政を支えていただき、すでに本市の課題や進むべき道筋は熟知しておられる。独自のカラーを存分に発揮され、公約の「持続可能な市政運営、小さくともキラリと光るまち」を目指し、市政発展に向け尽力されることを切望する。



今年桜江町と合併10周年。市章も合併時に制定されて10年が経過。

生活交通

乗り合いタクシー導入を

市長／手法にとらわれず検討



多田 伸治

末から来年度にあり方を示す。

問 岐阜県美濃市は年間4000万円です。乗り合いタクシーを実施している。本市がすでに行っている生活交通バス事業1300万円と石見交通への補助2300万円の予算で財源が確保でき、タクシー業者への委託で雇用対策にもなる。導入を。

答 基本的な考え方は変わらない。国や県の動向を注視し、交通施策の立案に取り組み。

問 交通弱者がいる現状をどう考えるか。

答 新市建設計画の循環バス事業実現へ、手法にとらわれず検討する。

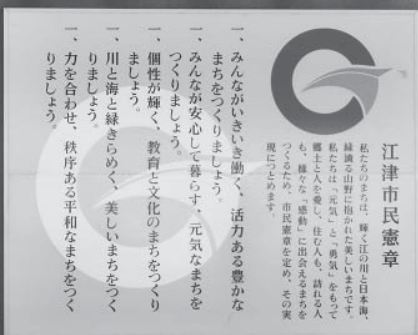
問 循環バス事業は計画策定後10年経っても進んでいない。また、公共交通を基軸とする現在のやり方では利便性が低い。考え方の変更を。

答 なにもしていないわけではなく、平成21年度から生活交通バスを運行している。

問 循環バス事業の進捗率は0%。生活交通バスの利便性も低い。利用者の高い路線は委託業者の努力によるもの。それが無い有福・千田線の利用状況は。

答 1日の乗車人数は0・55人。

江津市役所



問 財源も人員もない地域コミュニティでバスを走らせる具体的な説明を。

答 無償で走らせることも可能。協議して計画をつくる。地域コミュニティだけでなく、国の交通政策基本計画を踏まえ、今年度

基軸となる公共交通バスの利用状況

運行系統	乗車密度
周布～有福温泉～江津駅前	2.8
周布～宇野～有福温泉	1.7
江津駅前～大橋東詰～嘉戸塩田口	0.4
済生会病院～江津駅前～嘉戸塩田口	0.3
周布～西波子～有福温泉	2.9
周布～西波子～済生会病院～江津駅前	3.8
周布～西波子～沖田クリニック～江津駅前	3.4
済生会病院～岩貝～川戸駅	0.1
済生会病院～波積～大家	0.4
済生会病院～波積～大家回転場	1.7
済生会病院～浅利駅～波積	0.3
大田市立病院前～仁万駅前～済生会病院	3.8

進捗状況と見通しは

市長／教訓を活かし対応

災害復旧



山本 誉

問 昨年の災害を教訓とした、検証や具体的な見直しは。

答 災害発生時の初動体制について見直し、明るいうちに各地区に地区班を配置するなど、市民の皆さんの早期の避難に対応する体

制をとることとした。また、すでに役割分担なども確認を行い、情報班専任による情報選別など新たな手法も取り入れた。

問 災害の影響で16億円余の膨大な費用が繰り越されているが、復旧工事の進捗状況と今後の見通しは。

答 25年度で、公共土木施設は発注率50・9%、着手率29%で、農地と農業用施設はそれぞれ58・3%、53・7%となっている。今

後も進捗状況を勘案し計画的な発注を行う。また対応は市内業者にお願いし、人的被害などを懸念する箇所を優先的に工事着手するよう調整を図る。



急ピッチで作業が行われている災害復旧工事現場

【教育改革】

問 全国初となる佐賀県武

雄市の官民一

体となった学校運営は過疎対策にもつながるという。本市の教育改革の見解は。

答 当面、官民一体となった取り組みは考えていない。

心の教育、人権教育の推進、いじめを許さない体制づくり、不登校の未然防止と学校復帰を目指した支援、ふるさと教育の推進、キャリア教育など、本市独自の手法でやっていくことが特色と捉えている。

教育施策

諸問題への対応を

教育長／しつかり取り組み



田中利徳

問 江津の宝である児童生徒の将来は義務教育によって大きく左右される。本市の義務教育の現状は。

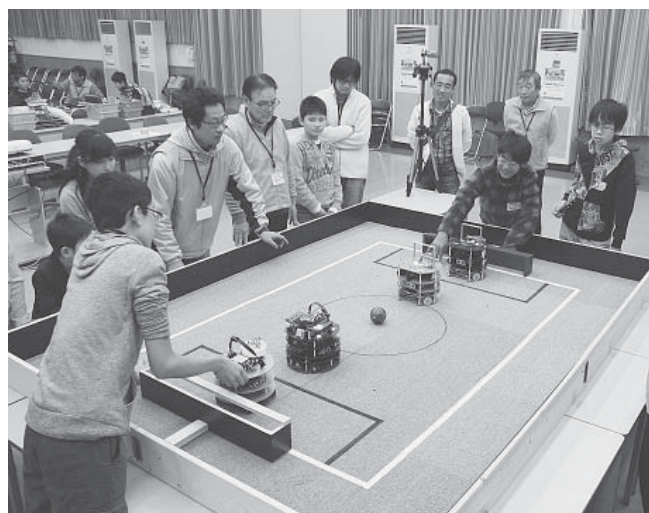
答 本市の子どもたちは素直で明るく快活であり、生徒会活動や行事にも積極的に参加し、部活動などでも頑張る力を持っている。課題は学習時間の確保が不十分であること。現在、ノーメディアデーを設定し、家庭学習や家族との触れ合いの時間の確保に努めている。

問 全国学力・学習状況調査の結果を県内では松江市が学校別に公表するが、本市の対応は。

答 6月2日に教育委員会会で協議し、過度の競争や学校間の序列を招かないための配慮から、公表しないことに

した。
問 学校教育の大きな柱である教員の指導力向上対策は。

答 本市では、2名の教科担当指導主事を配置している。定期的に学校訪問し、具体的な学習についての指導・助言を行い指導力向上を図っている。今年度は、家勉充実・授業改善プロジェクトを立ち上げ、学力調査の分析結果を活かし、家庭学習充実を推進する。



科学を通して子どもたちを地域で育てようと取り組まれているサッカーロボット教室（写真はジュニアロボットカップ島根大会）

優先的対応を

市長／懸命に努力したい

災害復旧



森川 佳英



昨年大雨で家のすぐそばまで裏山が崩落 (H25・8・31)

は 2200 万円
の 予 算 に 対
し、432 件
2160 万円
の 需 要 が あ
っ た。
浜 田 市 で は 耐
震 基 準 に 適 合
し た 改 修 に
工 事 費 の
10 分 の 1 で
上 限 20 万 円
ま で 助 成 し、
25 年 度
は 1000 万
円 の 予 算 に
対 し、55
件 967 万
円 の 需 要 が
あ っ た。

問 雨期に入り、また被害が出るのではとの不安がある。災害復旧は他の課題とは同列にできないもので、住民を守ることが何よりも優先される。あらゆる方法を尽くし被害を防ぐ取り組みを。

答 裏山の崩落などはすでに工事発注している。また、再被害の可能性のある箇所へは点検・パトロールを行い、状況を住民へ報告している。昨年の反省を踏まえ、雨に対して十分に対応したい。

【リフォーム助成制度】

問 県内他市の住宅リフォーム助成制度の状況は。

答 大田市では、工事費50万円以上の新築・改修に一律5万円を補助し、25年度

問 答弁からも経済効果が認められる。地元で生まれたお金が地元で動く仕組みをつくり、市内中小業者を後押しするため、本市でも新しい住宅リフォーム助成制度の創設を。

答 今ある制度を最大限活用すれば、市民の負担は軽減されると認識しており、災害復旧に約48億円もかかっている中で、財政負担を伴う新たな制度創設は非常に困難。

防災対策

水位観測地点の増設を

市長／県へ重点要望



森脇 悦朗

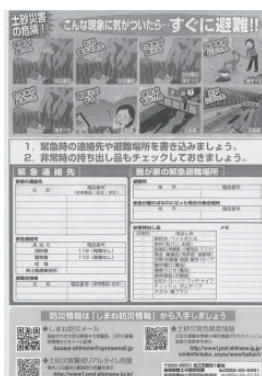
問 危険な裏山をかかえる住民にとっては、各自で判断しなければならぬ。土砂災害の前触れや避難の目安がわかるよう広報活動をする。

答 災害時の写真や動画による防災出前講座を実施しているの活用してほしい。市広報においても折に触れ、防災特集を組んでいる。また、防災行政無線戸別受信機や防災メール利用促進のチラシなども配布している。今後も分かりやすい内容の充実した広報活動を継続する。

問 災害への備えや避難時期の判断をするためには、雨量データとともに河川水位観測データが必要。上流部の観測ができるよう水位計などの増設を。

答 昨年の豪雨災害時には、敬川上流部に水位計がないため、跡市地区の浸水は住民の通報で知った。八戸川についても、水位計はあるが避難基準となる特別警戒水位の設定がない。県への重点要望として、八戸川、敬川の水位周知河川の指定を

問 災害復旧工



早めの避難を呼びかけるチラシ

事について、地域経済を支えるためには市内業者での事業消化が求められる。市外県外から人材確保を行った場合の経費なども積算すべきでは。

答 市内業者の労働者確保は大きな課題と認識している。県が試行しているが、遠隔地からの労働者確保対策として、宿泊費や交通費など経費の一部を計上する支援の動きもあり、施工業者の実態を把握する中で積算方法の導入について検討する。

議 員 紹 介

議席番号・氏名(年齢)

①期数 ②住所 ③会派

6月1日に実施されました「江津市議会議員選挙」において当選し、市民の皆さんの代表として、市政発展のため取り組む議員 16 名を紹介します。※議席順に掲載（年齢は6月1日現在）



① つぼうち りょうじ 坪内 涼二 (32)
① 1 期 ② 浅利町
③ 政友クラブ



② かじ えみこ 鍛治 恵巳子 (43)
① 1 期 ② 渡津町
③ 政友クラブ



③ こばやし ひろあき 小林 博昭 (65)
① 1 期 ② 敬川町
③ 政友クラブ



④ たなか としのり 田中 利徳 (65)
① 1 期 ② 嘉久志町
③ 政友クラブ



⑤ ただ しんじ 多田 伸治 (39)
① 2 期 ② 渡津町
③ 日本共産党江津市議会議員団



⑥ もりかわ よしひで 森川 佳英 (58)
① 2 期 ② 千田町
③ 日本共産党江津市議会議員団



⑦ とうま よしあき 藤間 義明 (63)
① 2 期 ② 都野津町
③ 政友クラブ



⑧ もりわき えつろう 森脇 悦朗 (52)
① 3 期 ② 跡市町
③ 会派なし



⑨ しまだ しゅうじ 島田 修二 (55)
① 3 期 ② 後地町
③ 市民クラブ



⑩ いしばし たかよし 石橋 孝義 (66)
① 3 期 ② 都治町
③ 会派なし



⑪ こうの まさゆき 河野 正行 (55)
① 4 期 ② 二宮町
③ 政友クラブ



⑫ ふじた あつし 藤田 厚 (64)
① 4 期 ② 桜江町
③ 政友クラブ



⑬ どい まさと 土井 正人 (68)
① 4 期 ② 松川町
③ 政友クラブ



⑭ たなか なおふみ 田中 直文 (72)
① 4 期 ② 桜江町
③ 政友クラブ



⑮ やまもと ほまる 山本 誉 (56)
① 5 期 ② 和木町
③ 市民クラブ



⑯ なごか しずま 永岡 静馬 (59)
① 5 期 ② 二宮町
③ 会派なし



大きくなって江津の海に帰っておいで

7月3日(木)、渡津町の江津港で行われたヒラメの稚魚放流体験。小学生に「栽培漁業」を知ってもらおうと毎年行われています。建設厚生委員会のメンバーも参加し、渡津小学校の5年生児童と一緒に、約1000匹のヒラメの稚魚を放流しました。

お知らせ

改選後、初の議会報告会を開催します

9月定例会ののち、4会場に分かれて開催

新しいメンバーでの初の報告会です。
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

会 場	開催日時
江津本町藁街道 交流館（山辺神社参道内旧役場）	10月18日(土) 19:00～ 20:30
波 積 ふれあいホール	10月25日(土) 19:00～ 20:30
波子公民館	10月31日(金) 19:00～ 20:30
市山生涯 学習センター	11月1日(土) 19:00～ 20:30

表彰

◆全国市議会議長会

☆普通表彰

(議員10年以上)

・藤田 厚

・田中直文

(正副議長4年以上)

・土井正人

◆中国市議会議長会

☆議員特別表彰

(議員16年以上)

人事

◆監査委員

・永岡静馬

お知らせ

○次回定例会日程

9月1日(月) から

9月22日(月)までの

予定です。

編集後記

○請願・陳情の受付について
請願書及び陳情書の受付は、本会議初日の8日前の午前中までです。
〔例〕
9月定例会で、本会議初日9月1日の場合『8月22日の午前中まで』となります。
それを過ぎますと、次定例会(12月定例会)に付託・審議されることとなります。

改選後、新たなメンバーで初めての編集作業が終了しました。新人委員が3名ということとで若干の不安を感じていたところですが、全委員の協力で無事発行でき、正直ほっとしています。
これまで、当委員会では、市民の皆様にとって市議会が身近に、そして、より分かりやすくなることを目標に、年4回の「市議



議会広報・情報公開対策特別委員会の新メンバーです。よろしくお願ひします。

会だより」を発行してまいりました。
これからの2年間、このメンバーで、これまで以上に市民の皆様、分りやすく読んでいただくことを心がけ、「市議会だより」の紙面づくりに努力してまいります。
(島田修二)

編集・発行責任者

議長 藤田 厚

議会広報・情報公開対策特別委員会

委員長 島田 修二

副委員長 多田 伸治

委員 坪内 涼二

委員 鍛冶恵巳子

委員 小林 博昭

委員 田中 直文